

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 (プレイヤーコース)											
アンサンブル4											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	永田、西川、小澤、二村			実務 経験	有	職種	演奏者、バンドマスター、バンドアレンジ				
授業概要											
演奏者として、バンドアンサンブルを成立させるためには、各楽器の基礎演奏フォーム、各ジャンルの演奏スタイルを身につけることが必須で団。本授業では課題曲を通してバンドアンサンブルに必要な知識、スキル、コツを学び、それらをオリジナル曲のバンド演奏に活用していきます。											
到達目標											
リードシート、デモ音源をもとに、良いリズム、良い音色で、まとまりと抑揚のあるバンドアンサンブルを成立させる演奏ができる。オリジナル曲において的確なバンドアレンジ、アンサンブル構築ができることを目標とします。											
授業方法											
課題曲のリードシート、デモ音源をもとにバンドアンサンブルを作り上げてゆく。適宜ボーカルコース学生、1年生や講師が加わり、なるべく多くの人と一緒に演奏する中でスキルやコツを学ぶ。可能な学生（バンド）から、オリジナル曲演奏に移行する。定期的に授業内での発表会、ライブ配信もおこなう。											
成績評価方法											
授業内発表60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内小テスト20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業態度20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)。											
履修上の注意											
この授業では、キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。普段から、音楽を流し聴きにとどめず、仕事の結果としての作品として鑑賞、分析、研究する習慣をつけておくこと。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
リードシートを配布する。											
回数	授業計画										
第1回	「Hi-Five」(Superfly)を課題曲とし、リードシートをもとに楽曲分析、演奏のアプローチの習得。並行してオリジナル曲も扱う。										
第2回	「Hi-Five」(Superfly)を演奏する。アタマ打ちビート、ロックのコード進行、フレーズの習得。並行してオリジナル曲も扱う。										
第3回	「Hi-Five」(Superfly)をボーカルコース学生を交え演奏し、アンサンブルを仕上げるができる。並行してオリジナル曲も扱う。										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 (プレイヤーコース)	
アンサンブル4	
第4回	「瞬き」(backnumber)を課題曲とし、リードシートをもとに楽曲分析、演奏のアプローチの習得。並行してオリジナル曲も扱う。
第5回	「瞬き」(backnumber)を演奏する。ハチロク系ビートと、J-Popギターサウンドアンサンブルを習得する。並行してオリジナル曲も扱う。
第6回	「瞬き」(backnumber)をボーカルコース学生を交え演奏し、アンサンブルを仕上げるができる。並行してオリジナル曲も扱う。
第7回	「Story」(AI)を課題曲とし、リードシートをもとに楽曲分析、演奏のアプローチの習得。並行してオリジナル曲も扱う。
第8回	「Story」(AI)を演奏する。バラードのアンサンブルを習得する。並行してオリジナル曲も扱う。
第9回	「Story」(AI)をボーカルコース学生を交え演奏し、アンサンブルを仕上げることができる。並行してオリジナル曲も扱う。
第10回	ボーカルコースと合同で2月のイベント出演者オーディション。
第11回	「3月9日」(レミオロメン)を課題曲(合唱)とし、リードシートをもとに楽曲分析、演奏のアプローチの習得。並行してオリジナル曲も扱う。
第12回	「3月9日」(レミオロメン)をボーカルコース学生を交え演奏し、合唱アンサンブルを仕上げるができる。並行してオリジナル曲も扱う。
第13回	2月イベントのゲネプロ。
第14回	2月イベントのゲネプロ。
第15回	3月卒業ライブのゲネプロ。